



シラサギ(森の広場で)

ヤマアカガエルの産卵～シラサギの飛来

立春を過ぎ、寒さも徐々に和らいできましたね。森、池、川、棚田と、様々な場所で春が近づいてきているのを感じます。今月15日の大雨の日には、カエル池や棚田でたくさんの「ヤマアカガエル」が大合唱し、産卵しました。その卵塊の数はなんと26！七国に開園して以来最多数を記録しました。子ども達はこのゼリー状の卵をそっとすくって、初めて触れる感覚に驚きの表情を浮かべていました。おそらく一生忘れることがないであろう感覚と共に、無数の小さな命が宿っていることを知りました。クラスによっては保育室で観察ケースに入れて飼育ををはじめするなど、子ども達の今後の発見や学びが楽しみです。

また、産卵を予期したかのように、大きなシラサギがやってきて、全園児が見守る中、カエル池、棚田、森の広場などを散歩しながら、タイミングを見計らってカエルを狙う様子や、飛び立つ様子などを、一日中観察することができました。大きな羽を広げて飛ぶ姿には子ども達も大歓声！

はじめは、子ども達から「しろはと？ がちょう？ はくちょう？ つる？」と様々な名前があがりましたが、「シラサギ」という名前を知ると共に、「長い首と足、長く黄色いくちばし」といった特徴を知る機会になりました。

また、母ガエルが一生懸命に卵を産み、疲れ果て命つきる姿を目にしたたり、シラサギがカエルを狙う姿に出会うことで、自然の中で生きる大変さや、それぞれの命が我が子を育てるために一生懸命に生きていることなど、とても多くのことを感じさせてくれます。子どもたちも、そうした姿を観察しながら、様々な生き物の感情に思いを寄せ、その立場に立って物事を考えられるようになっていきます。どんなに本を読んでも動画で見ても、本物の出会いにはかないません。ありのままの自然環境の尊さを改めて実感致します。



「ヤマアカガエルの卵の感触は？ 一粒一粒が大切な命だよ！ そーっとね！」



棚田でじっと獲物を探して…。真っ白な姿は年少の部屋からも…。「あ、とんだ！」



飛び立つ瞬間！

※シラサギは毎年飛来してくるのですが、園庭に園児が大勢いる時は見られず、園が休みの日によく見られました。今年は保育中でしたが、大雨で園庭に園児がいなかったため安心してやってくる事ができたのででしょう。翌日以降もやってきますが、園舎の屋根の上に止まって園庭の様子をうかがったり、カエル池や棚田に来て、子ども達が近づくとまた飛び去って行くようです。



思わず追いかける子ども達と飛び立つシラサギ！

豆まき会 ～節分～

年少、年中は各自で鬼のお面を作り、色々な表情の鬼が完成！年長はクラスごとの共同制作で大きな鬼を作りました。園庭では年長が作った鬼をめがけて、みんなで気持ちを1つに、「鬼は～外！」。これで、心の中の鬼もいなくなり、1年間元気に過ごせますね！
いよいよ春がやってきます。園庭では早速、春探しが始まりましたよ！



色々な表情の鬼ができましたね！笑顔の鬼も！

年長3クラスの巨大鬼の迫力！！

ひなまつり制作

ホールにある大きな7段の雛壇飾りを観察し、雛人形を作りました。顔に絵を描き、細かい作業もていねいにおこない完成！ ひな祭りが楽しみです！（年長は制作中！）



泥だんご

子どもたちは泥遊びが大好き！年長は、秋に園庭で粘土を採取して、陶芸でお皿を作ってから、特に泥だんご作りに夢中です。園庭には場所によって5種類以上の土がありますが、それぞれの土でピカピカの泥団子を作っています。



誰の泥だんごが一番ピカピカかを競ったり、お店屋さんごっこに発展したりと、遊びが広がっていきます。



泥だんごのレストランを作ることに！看板も作りました。今度はメニューも作る予定だそうです。

年長 アトリエ ヤギさんの観察画

年長さんは保育室の前で、大好きなヤギさんを観察しながら絵を描きました。いつもは、餌をあげたり、なでたり、小屋の掃除をしたりなど、お世話もしてきましたが、アトリエの菱田波先生のアドバイスを聞きながら、あらためて目、鼻、口、手足、尻尾などをよく観察してみると、今まで気づかなかった特徴を見つけることもできて、発見や驚きの連続だったようです。ヤギさんもはじめは緊張？していたようですが、慣れてくると、みんなからじっと見られ、モデルになっていることを楽しむかのように、子ども達の顔を見渡して愛嬌を振りまいていました。のどかな空気が流れ、とても微笑ましい時間でしたよ！



動物さん達も顔を出しました！棚田の畦にはタンポポも咲きました！もうすぐ春ですよ！